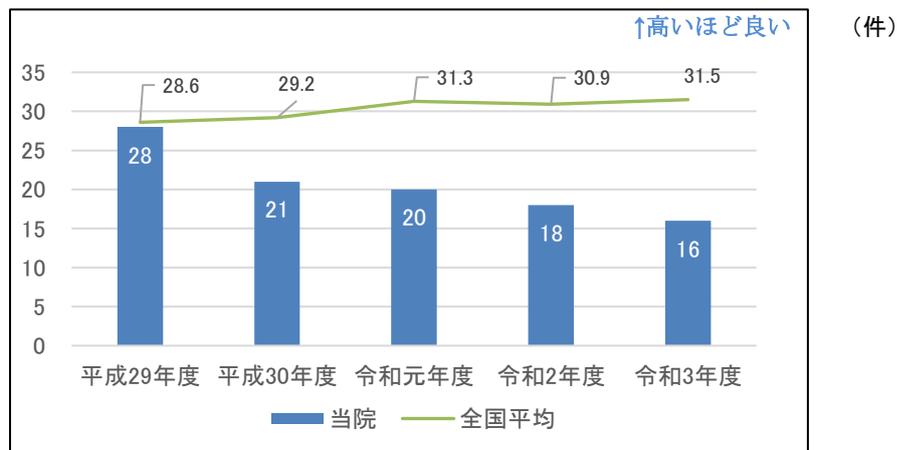


14 直線加速器による定位放射線治療患者数

○項目の解説

定位放射線治療とは、凹凸のあるがん病巣の形状に合わせて様々な角度と照射範囲で放射線照射を行う治療です。がんの周辺の正常な組織を傷つけずに、病巣だけを狙って治療を行うため、綿密な治療計画と施行時の正確な位置決めが必要となります。このため、通常の放射線治療より時間と手間がかかります。高度な放射線治療を施行する力を示す指標といえます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院では、脳定位放射線治療を平成9年より、体幹部定位放射線治療を平成21年より実施しております。

脳定位放射線治療は、転移性脳腫瘍を中心に施行されています。近年では比較的大きな腫瘍や複数個の腫瘍が同時に照射可能なVMAT(強度変調回転放射線治療)を用いて治療を行い、以前に比べ全脳照射より定位照射が選択されることが増加しています。

体幹部定位では、早期肺癌・転移性肺腫瘍に対して治療を施行しています。

脳定位、体幹部定位ともに治療中の負担が小さく治療時間も短くなっているため、入院ではなく外来で施行されることが多くなっております。このため、グラフでの人数(入院での治療)は減少傾向ですが、コロナ禍で治療人数が減少する中、定位治療総数は昨年度と大きな変化はありません。

○定義

DPC データを元に算出した、医科診療報酬点数表における、「MO01-3 直線加速器による定位放射線治療」の算定件数です。

○算式

実数